

報告 国際モダンホスピタルショウ2012 ブース出展とプレゼンテーションセミナーを実施

本医業経営コンサルタント協会は7月18日～20日、国際モダンホスピタルショウ2012においてブース出展とプレゼンテーションセミナーを実施した。

18日のセミナーでは、萩原輝久氏（(株)ヘルスケア経営研究所 代表／認定登録 医業経営コンサルタント）が「診療報酬・介護報酬同時改定の対応事例」として改定のメッセージとポイントを踏まえた今後の対応について講演され、また、20日のセミナーで高須和之氏（ケルビム法律事務所 所長／協会会員）は「これでわかった医療事故・クレーム対応事例」をテーマに医療事故の初期対応とクレーム対応の重要性を元にした具体的対応事例について解説された。展示ブースでは、協会PR映像をはじめ公益社団法人移行告知や資格受験の案内などでにぎわい、本部広報委員が対応した経営相談ブースでも医療関係者が相談に訪れていた。（編集部）



報告 中国・四国地区協議会 開催報告 公益社団法人移行後、最初の支部広報連絡員会議もあわせて開催

本年度、第2回中国四国地区協議会が8月3日に岡山全日空ホテルにて開催された。中国四国9支部長、中国四国地区から選出された本部各委員会の委員5名、顧問1名に本部広報委員会より2名が出席した。

理事会、地区協議会代表連絡会議等の報告から、各委員会報告まで情報の共有化と各支部意見交換等、日本医業経営コンサルタント協会のあるべき姿にむけ活発な協議が行われた。なかでも10月4日（木）に徳島で開催される「地域交流会」、11月8日（木）に広島で開催される公益社団法人移行記念セミナーの成功に向け、広域での広報活動の情報交換や地域が連携してセミナーを盛り上げていくことが確認された（開催概要は次項参照）。

あわせて公益社団法人移行後初めてとなる「平成24年度中国四国地区支部広報連絡員会議」が開催された。本部広報委員会より2名の委員が出席して、本部と支部広報活動の連携強化、機関誌JAHMCへの支部活動、支部会員のコンサルティング事例の情報提供の協力依頼の説明があり、機関誌JAHMC発行体制に対する要望等、意見交換が行われた。



（広島県支部／本部広報委員 藤井 康彦）